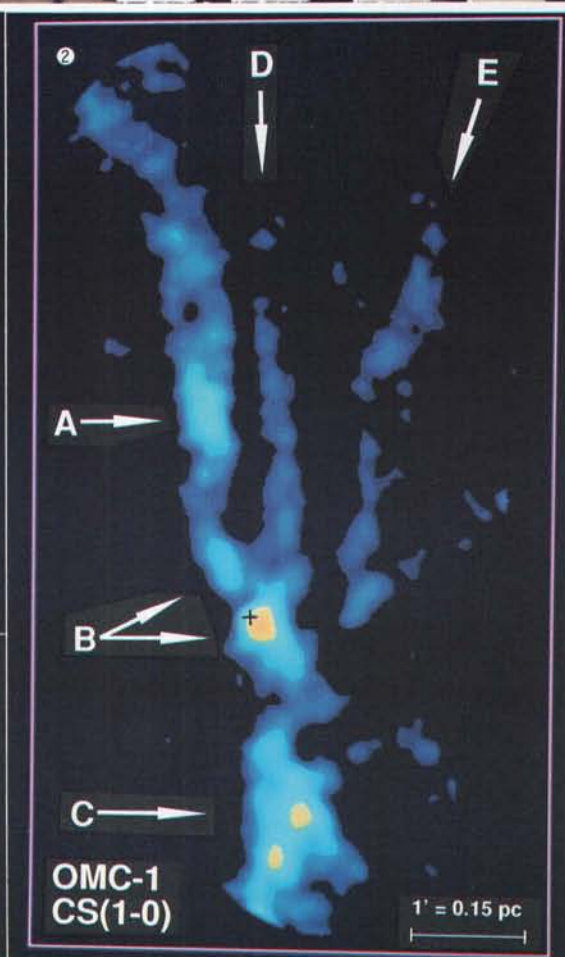
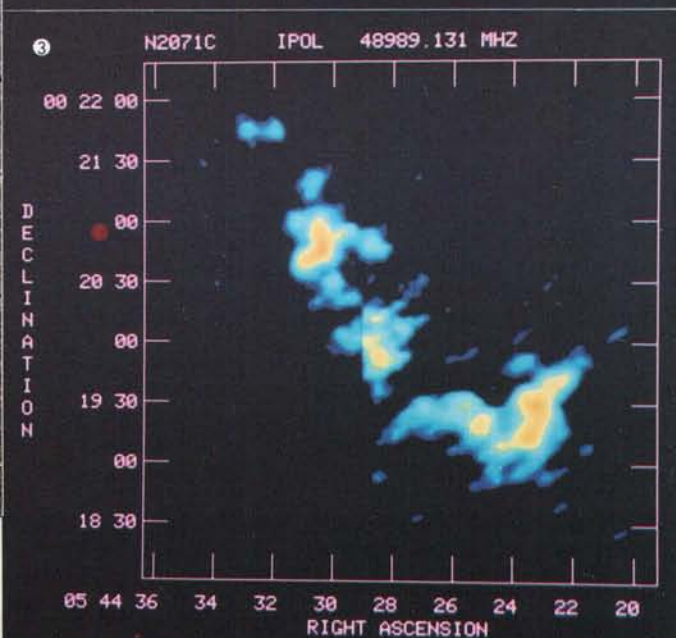
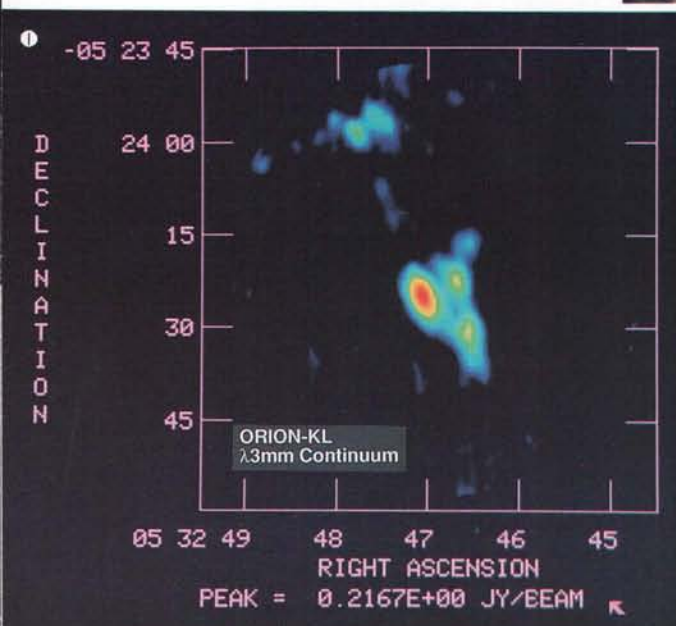
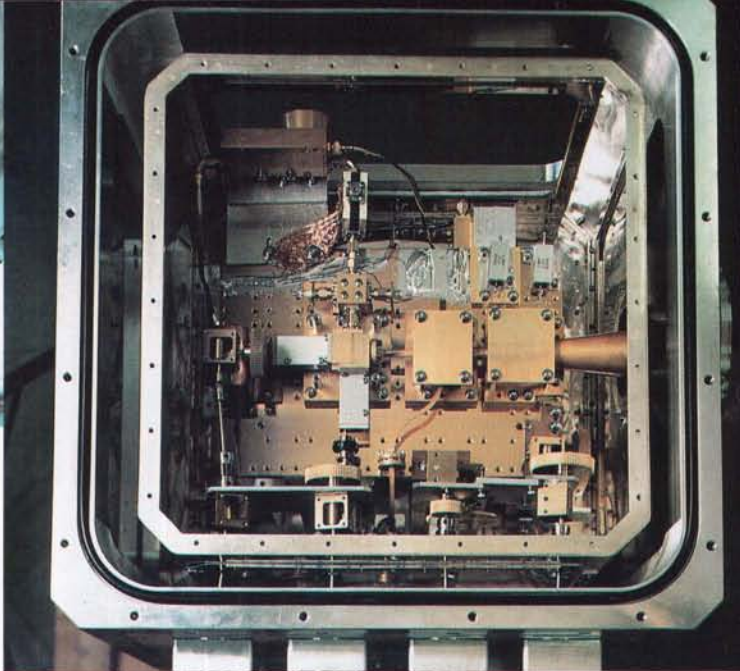




▲[写真1-①] NMAの10mアンテナ内部。中央に40/100GHz SIS受信機、左側に22GHz HEMT受信機が見える。

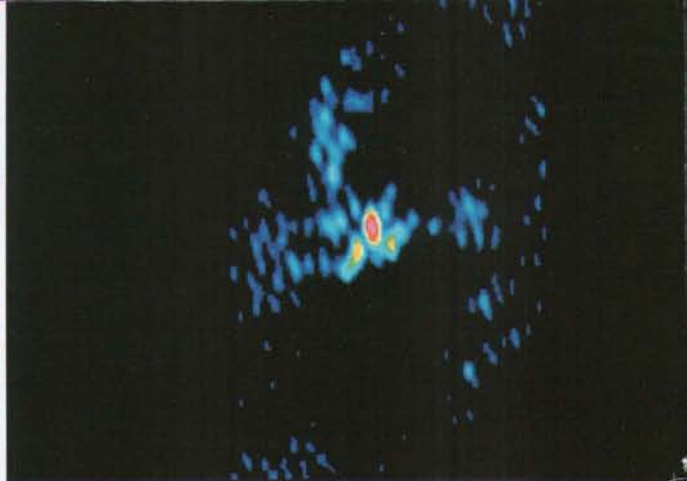
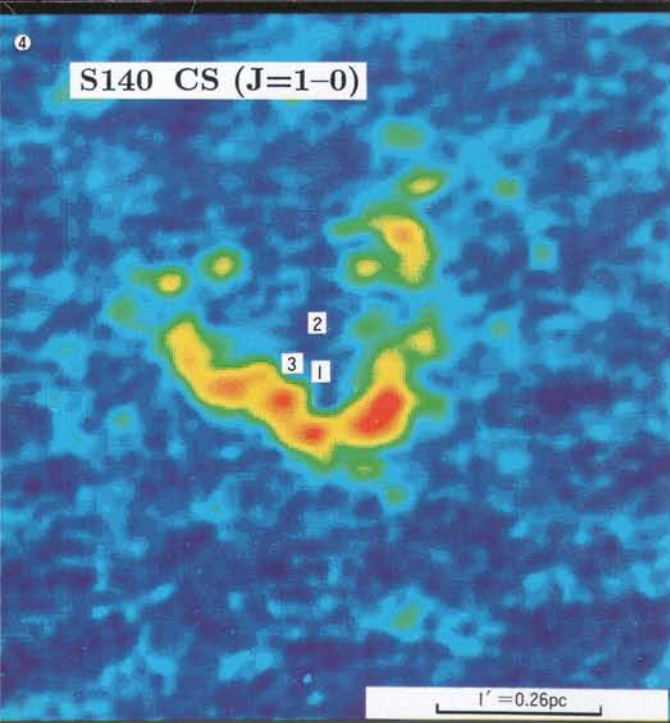
▶[写真1-②] 40/100GHz SIS受信機の内部。金色の部分は4Kの極低温に冷却される。(P.4 石黒氏記事参照)



▶[写真2-①] Orion-KLの波長3mmでの連続波のマップ。空間分解能は約2.″6。

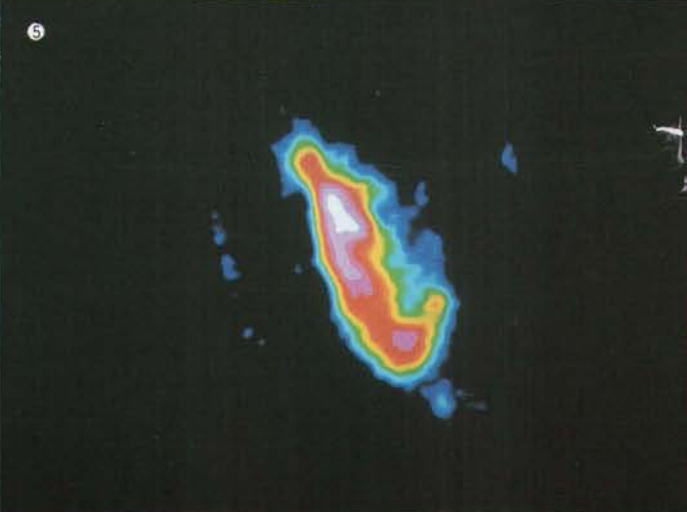
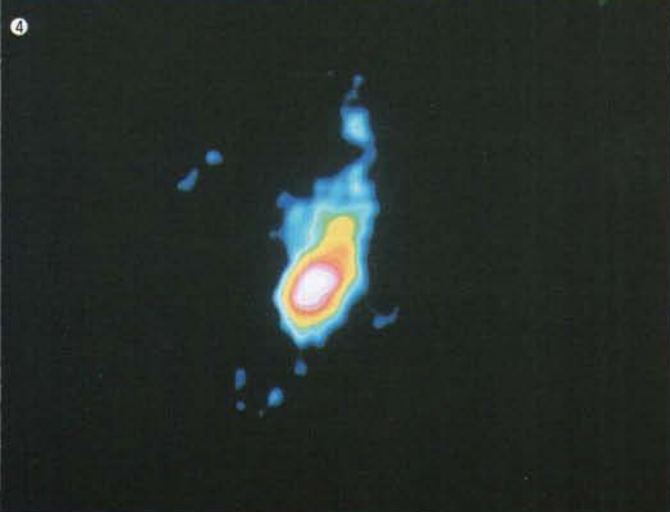
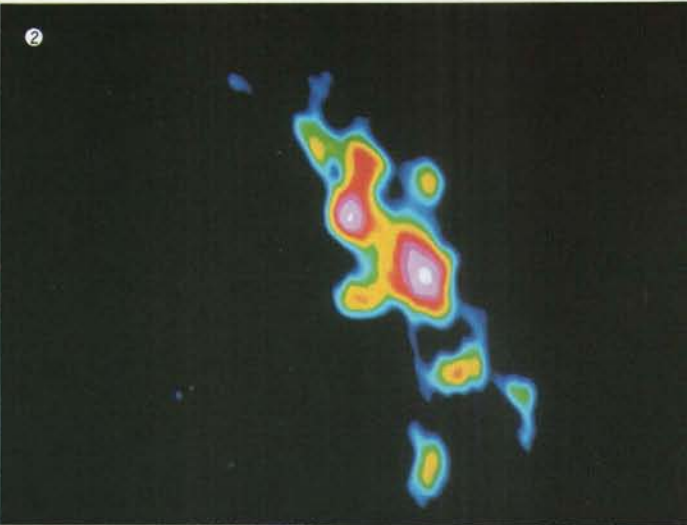
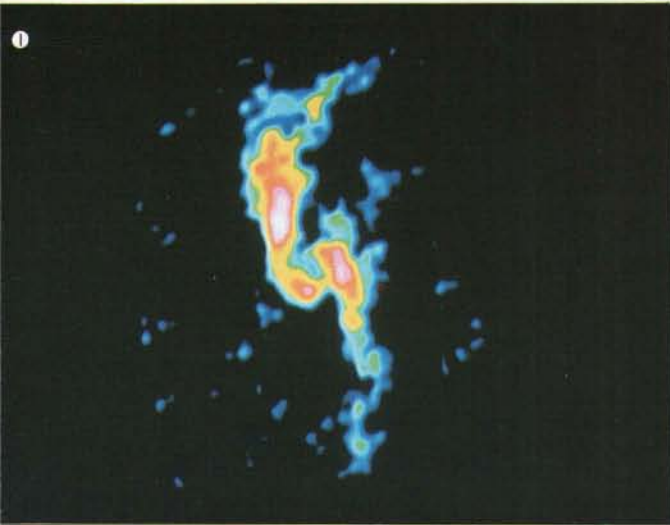
▲[写真2-②] OMC-1のCS(1-0)によるマップ( $V_{LSR}=5.0-10.8 \text{ km s}^{-1}$ )、6視野の観測を合成したもの。空間分解能は約9″、+印はOrion-KL。

◀[写真2-③] NGC 2071 IRSのCS(1-0)による2視野の観測により見いだされた双極流を囲む高密度シェル。(P.12 村田、林氏記事参照)



▲ [写真3] 99 GHz 連続波で見た銀河系中心の電離ガスの分布。  
(P. 16 奥村氏他記事参照)

◀ [写真2-④] S 140 CS (1-0) のリング状構造。1, 2, 3 は赤外線源を示す。  
空間分解能は8". (P. 12 村田, 林氏記事参照)



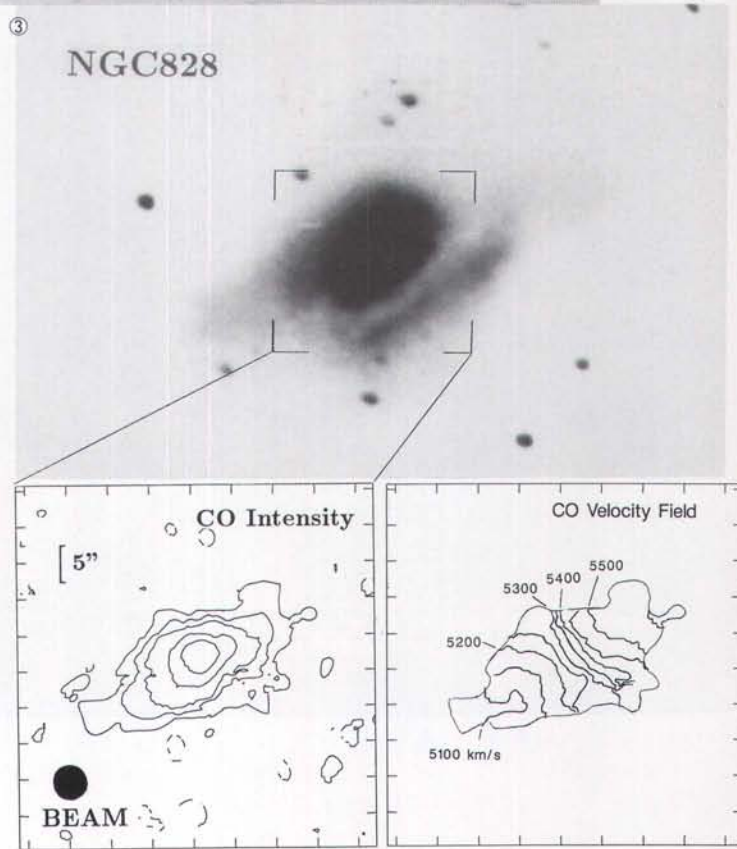
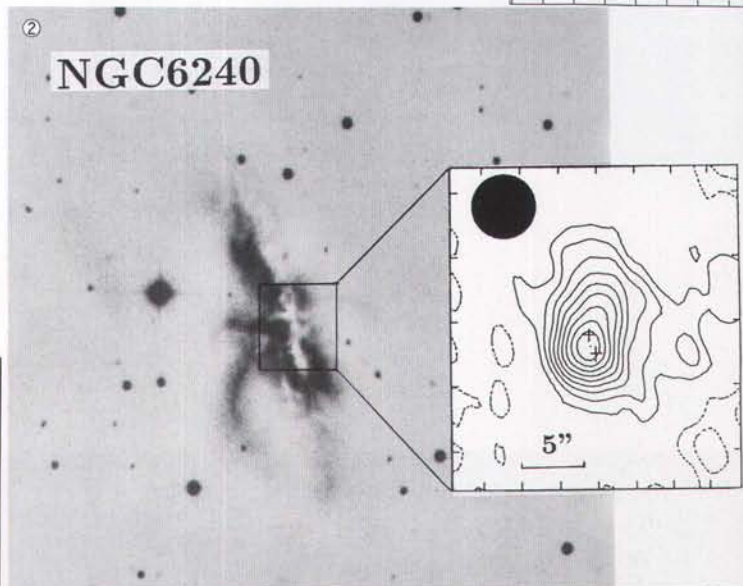
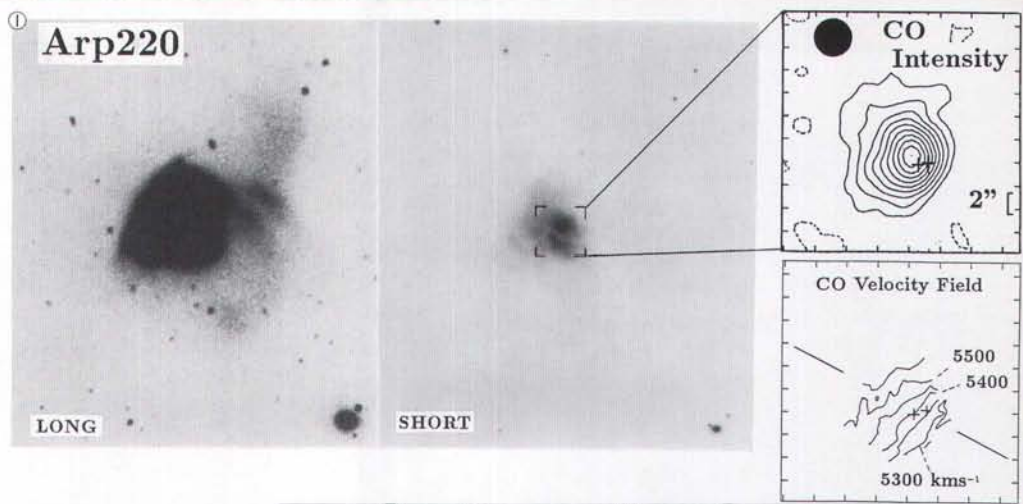
上 [写真4-①] IC342 中心部の CO 積分強度図。分解能は 2."4 × 2."3  
(3.9 Mpc の距離で 45 pc × 44 pc)。

下 [写真4-④] NGC 6946 中心部の CO 積分強度図。分解能は 3."5 × 3."0  
(5.5 Mpc の距離で 93 pc × 80 pc)。

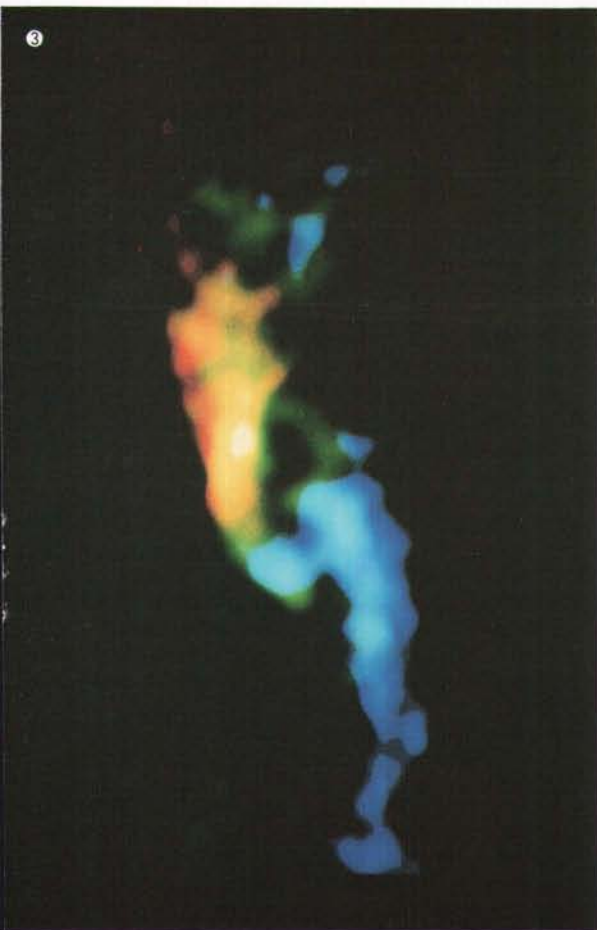
上 [写真4-②] IC342 中心部の <sup>13</sup>CO 積分強度図。分解能は 5."1 × 4."2 (3.9 Mpc  
の距離で 96 pc × 80 pc)。

下 [写真4-⑤] Maffei 2 中心部の CO 積分強度図。分解能は 3."8 (5 Mpc の距  
離で 90 pc)。



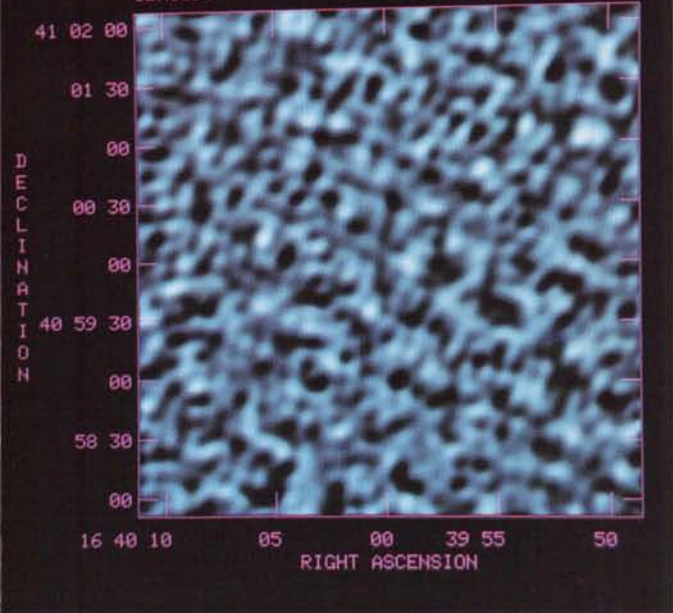


[写真5-①, ②, ③] 合体銀河の光学像 (Sanders 1988; 谷口 1990), と NMA によって得られた CO 分子線強度マップ.  
(P. 27 川辺氏他記事参照)



▲[写真4-③] IC342 中心部の CO 速度分布.  
(P. 23 石附氏他記事参照)

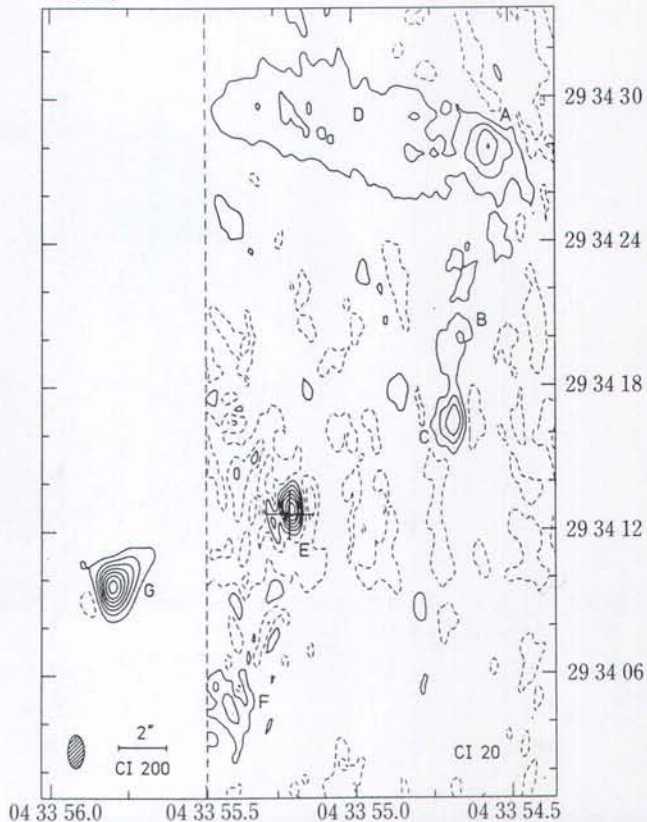
CER3a98 IPOL 97980.812 MHz



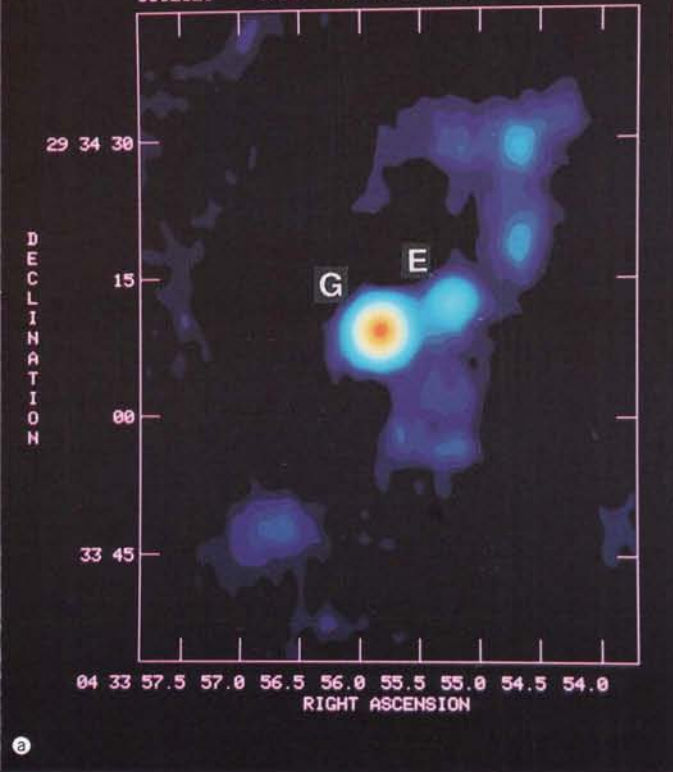
▲ [写真 6-①] 98 GHz 連続波によるディープ・サーベイの結果。  
(P. 30 松尾氏他記事参照)

▶ [写真 6-②] Cambridge 5-km 干渉計により 15GHz で観測した 3C123. 写真 6-③ (下) との対応に注目。

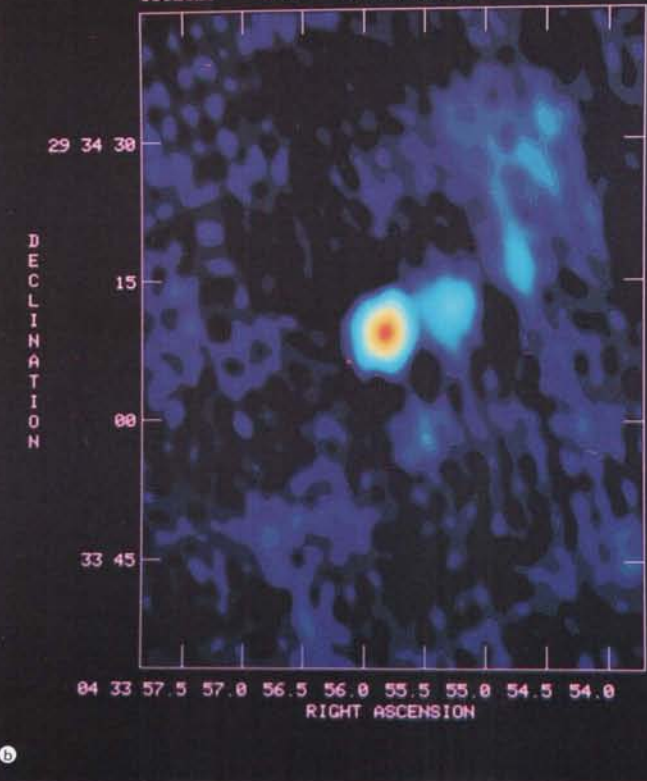
3C123 15GHz



3C123L3 IPOL 97980.812 MHz



3C123L3 IPOL 97980.812 MHz



[写真 6-③] NMA 98 GHz で観測した 3C123. ① self calibration 後. ピーク強度 458 mJy/Beam. ノイズレベル 4.6 mJy/Beam. ② self calibration 前.  
(P. 30 松尾氏他記事参照)